

ここには「太宰府」のまるごと情報がありません



# 太宰府館

太宰府市地域活性化複合施設



### 交通のご案内

- 福岡空港から  
福岡市営地下鉄、西鉄天神大牟田線で約50分
- JR博多駅から  
福岡市営地下鉄、西鉄天神大牟田線で約45分
- 西鉄福岡駅(天神)から  
西鉄天神大牟田線で約30分
- JR二日市駅から  
タクシーで約15分
- 九州自動車道  
太宰府I.Cより6km 筑紫野I.Cより5km

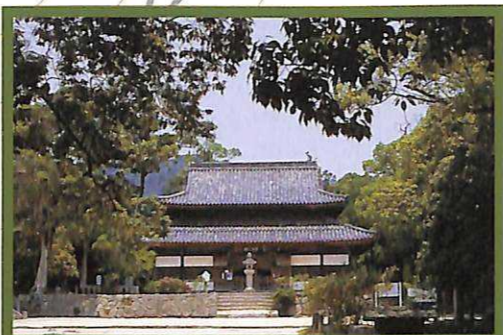
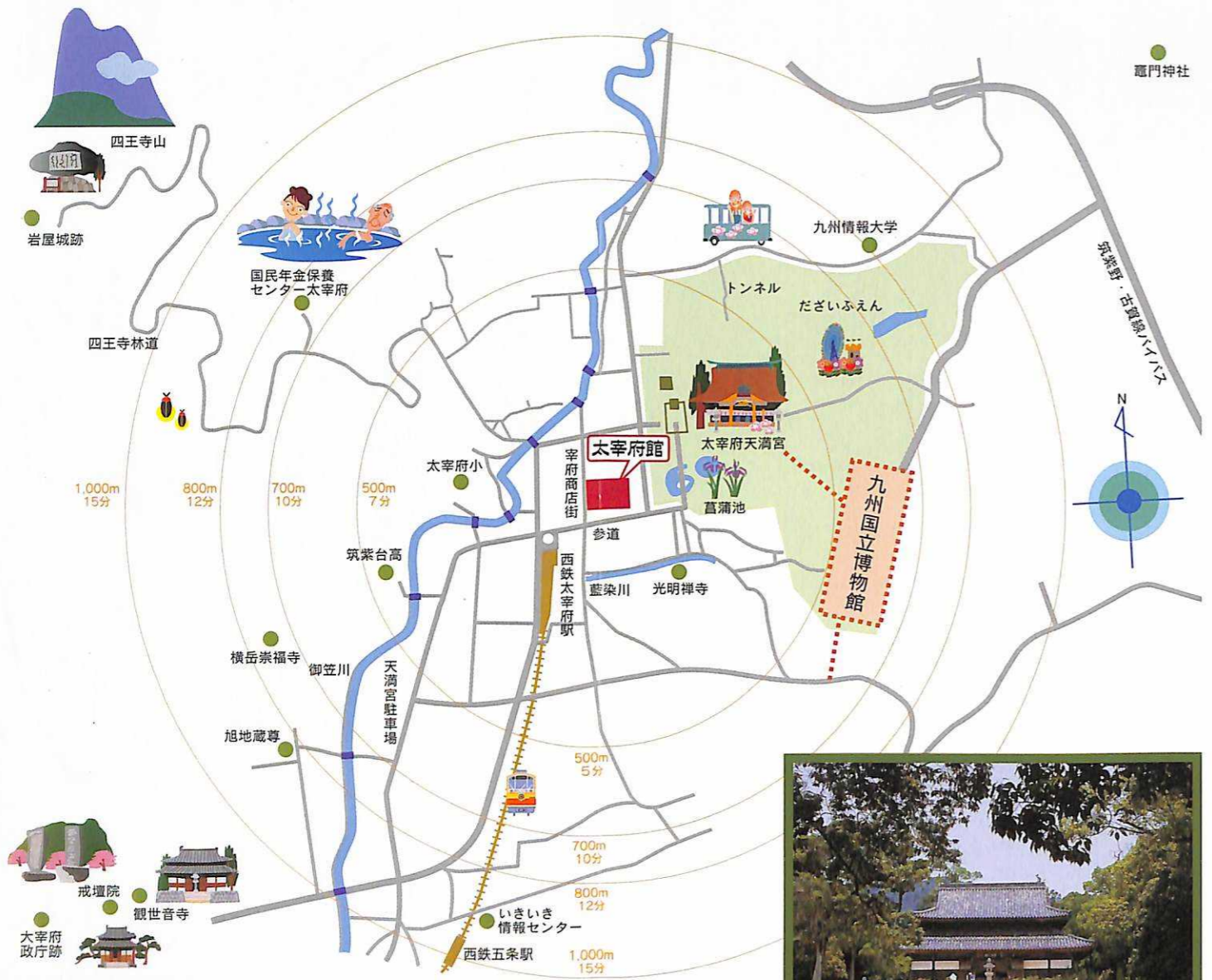
**開館時間** 午前10時より午後6時まで  
[ただし、ホールのみ午後10時まで  
ご利用いただけます(要予約)]

**休館日** 毎週水曜日(祝日の場合は翌日)

100,000

2004.11.1

〒818-0117 太宰府市幸府三丁目2番3号  
TEL(092)918-8700・FAX(092)918-8701



かんぜおんじ  
**観世音寺**

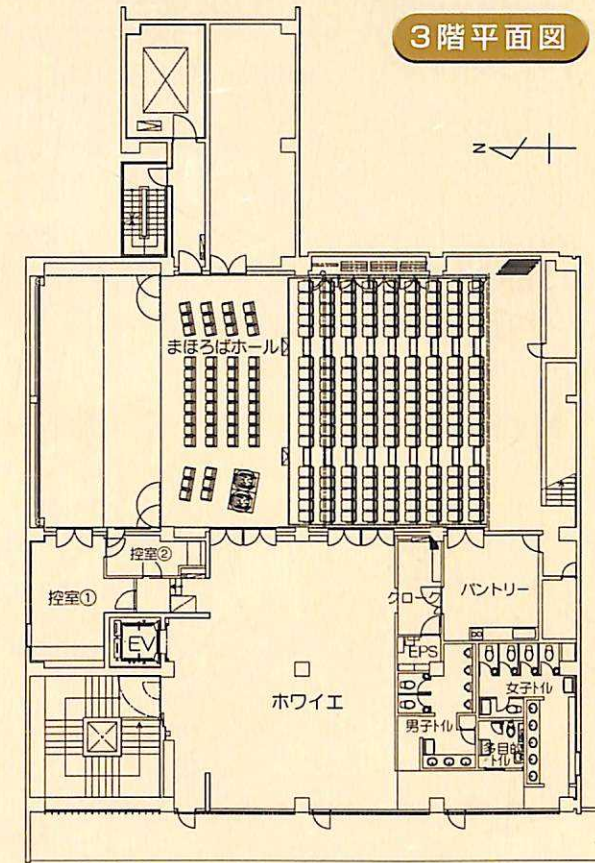
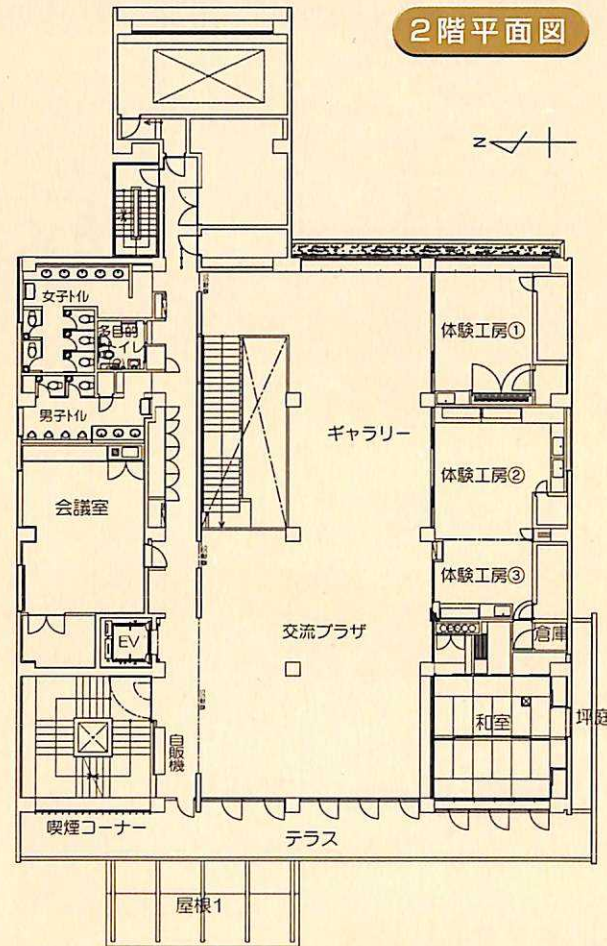
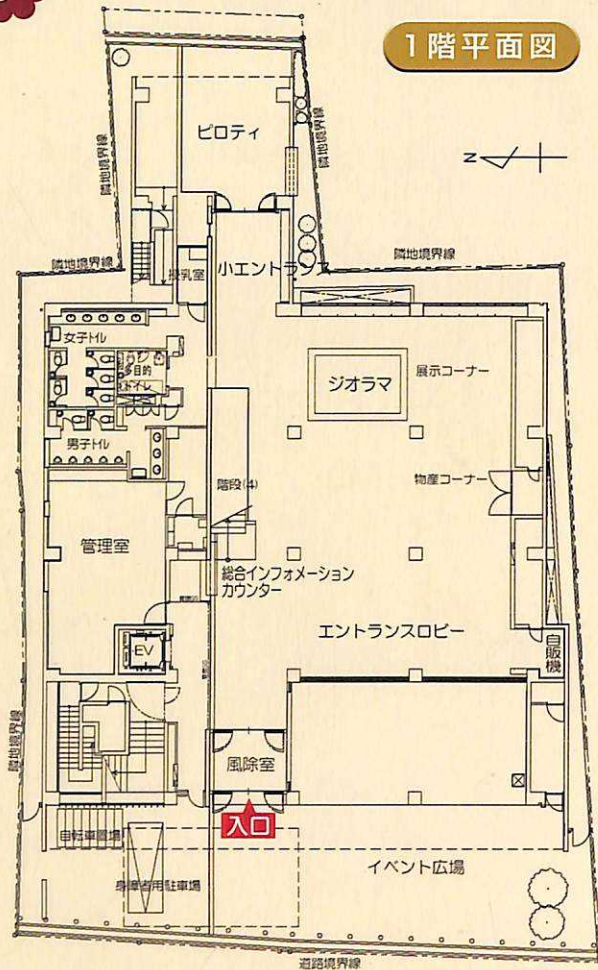
『源氏物語』にも登場する観世音寺は、斉明天皇追悼のために天智天皇の発願によって建てられた寺である。完成は奈良時代。古くは九州の寺院の中心的存在で、たくさんのお堂が立ちならんでいたが、現在は江戸時代初めに再建された講堂と金堂(県指定文化財)の二堂があるのみである。しかし往時の大きさをしのばせる日本最古の梵鐘(国宝)や、平安時代から鎌倉時代にかけての仏像(全て重要文化財)が数多く残り、境内はクスの大樹に包まれ、藤、アジサイ、秋と季節が静かに移る。

だざいふせいちゅうあと  
**大宰府政庁跡**

“都府楼跡”の名で親しまれている大宰府政庁跡は九州全体を治める役所大宰府があった所である。7世紀の後半から奈良・平安時代を通じて九州を治め、わか国の西の守りとして防衛を、また外国との交渉の窓口として重要な役割を果たしてきた。現在も大宰府政庁跡の中心にはその大きさをしのばせる立派な礎石が残り、そこを中心に門や回廊、そして周辺の役所跡が復元され、公園となっている。



旅人と市民の交流プラザとして、また、太宰府周遊の情報基地として、「太宰府館」が太宰府天満宮参道横に誕生しました。ここではあなたが主役です。



1階「ジオラマ」  
太宰府市の立体模型で、観光スポットなどの位置や地形を把握でき、史跡解説にも活躍します。



2階「ギャラリー」



2階「体験工房」



3階「まほろばホール」

1階概要		
区分	面積	用途例
総合インフォメーション・カウンター		館内案内とともに太宰府の観光案内と資料の配布をします。
物産(展示)コーナー	59㎡	特産品などを展示・販売します。また、ここだけにしかない、市民の手作り品の販売コーナー(フリアボックス)もあります。
エントランスロビー	234㎡	イベント広場と併せて利用することができます。
イベント広場	215㎡	朝市やガレージセール、大道芸、ストリートライブなどのための屋外のスペースです。

2階概要		
区分	面積	用途例
和室	35㎡	(20名) 茶道・各種会議
会議室	38㎡	(18名) 各種会議に利用できます。
体験工房①	29㎡	梅ヶ枝餅づくり、木うその絵付け、史跡解説、万葉歌碑めぐりなど、太宰府ならではの体験ができます。1週間前にご予約ください。但し、10人程度及び実費負担となります。
体験工房②	29㎡	
体験工房③	18㎡	
ギャラリー	75㎡	絵画、写真をはじめ様々な作品の発表ができます。
交流プラザ	125㎡	無料休憩所、ギャラリーとしても利用できます。

3階概要		
区分	面積	用途例
まほろばホール	全体	(228名) 可動式イス使用時 (180名) 持運びイス使用時 稽古ことの発表や講演会、研修会、パーティ、団体観光客の休憩、食事などに利用できます。(食事は、仕出し業者を紹介します。)
ホール	①	80㎡ (90名) ※舞台使用時は60名
ホール	②	80㎡ (54名)
パントリー	23㎡	給湯室

※用途例内の人数は、最大利用可能人数です。